



かま た しょう ぼう だん だい ぶん だん
蒲田消防団第2分団
かの ちとせ
鹿野 智歳さん

ひと・まち・カラフル おおたの窓から

地域であざやかに活躍する「ひと」。

十人十色のひとが調和する「まち」。

おおたの窓を開けると、飛び込んでくるのは、いきいき、カラフルな地域の風景です。

消防団のことを教えてください。

消防団員は、消防士と違い、仕事や学校に通いながら、災害時に出勤し、消火活動や安全管理を行います。他に消火訓練や、地域の方々の防災訓練、応急救護指導、消防団をもっと知ってもらうための広報活動などもしています。訓練をしても実際の火事現場は怖いですし、焦ってしまうこともあります。でも、その時にきちんと動けるよう、みんなですっきり話し合いながら訓練しています。消火技術を競う消防

操法大会でも、性別や年齢に関係なく意見をだし合って練習し、本番でもチームワークを発揮できました。



くんれんちゆう かの ちとせ
訓練中の鹿野さん

どうして消防団に入ったのですか？

消防少年団長や消防団をしている父の姿を見て、小学生の時に消防少年団に入り、18歳で蒲田消防団に入団しました。消防団員は、それぞれができる範囲で活動しています。色々な職業の人や子育て中の団員もいます。最近では若い人も増えてきています。訓練が楽

さがしてみよう！



みんなの通学路にもあるびよん？



学校や公園などの近くにある消防団本部。中には、消防ポンプ積載車や消火用ホース、震災用資器材などが保管されており、会議室もあります。

かま た しょう ぼう だん だい ぶん だん ぶん だん ほん ぶ
蒲田消防団第2分団の分団本部

しみになるくらいに仲良しです。やりがいや良い環境があったから続けてこられました。もし、消防団や消防士に興味があれば、小学生も入れる消防少年団や、18歳から入れる消防団に入ることをおすすめします。近くの消防署に相談してみてくださいね。

